

# 年末・年始 セーフ ワーク **Safe Work** 推進強調期間

何かと慌ただしくなる年末・年始。

忙しさのあまり、定められた手順やルールをつい省略してしまう…

大掃除や棚卸しの時に、脚立やはしご、足場代わりに乗った椅子などから落ちそうになる…

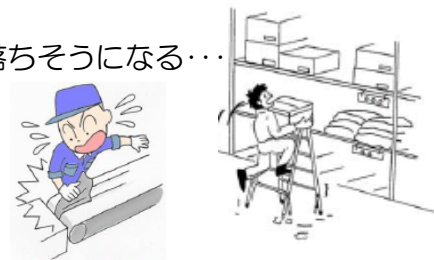
凍結した路面、雨や雪で濡れた階段で転びそうになる…

そんなことはありませんか？


年末年始は、季節特有の労働災害が起こりがちです。

東京労働局では、12月1日から1月31日までの期間を

**「年末・年始 Safe Work 推進強調期間」**として、労働災害防止を呼びかけます。



期間 令和元年12月1日（日） から 令和2年1月31日（金） まで

（期間中に、Safe Work ロゴマーク  の活用勧奨や、労働災害防止のためのパトロール、事業者の方々への取組要請などを東京労働局・労働基準監督署から行います）

## 事業者の皆さんの実施事項 ～次の取組をお願いします～

### ①年末年始の繁忙期をとらえた計画的、かつ、安全衛生に配慮した事業の運営

繁忙期には、安全衛生に配慮した計画的な事業運営を行うことが特に重要です。

### ②労働災害防止の気運の醸成に向けた取組

Safe Work ロゴマークの掲示、管理職や従業員への研修の実施、労働安全衛生に関する行事の開催、安全標語の募集を行うなど。

### ③経営トップによるパトロールの実施

### ④安全衛生大会等の開催

### ⑤積雪・凍結等、冬期における転倒防止、交通労働災害防止対策の徹底

### ⑥大掃除や棚卸し等の作業における脚立・はしごからの墜落、転落防止対策の徹底

### ⑦過去に発生した災害を踏まえた労働災害防止対策の徹底

### ⑧不安全行動防止のための「一人KY（危険予知）」等の実施

### ⑨その他、本期間にふさわしい安全衛生の取組

上記以外にも安全衛生の取組はたくさんあります。

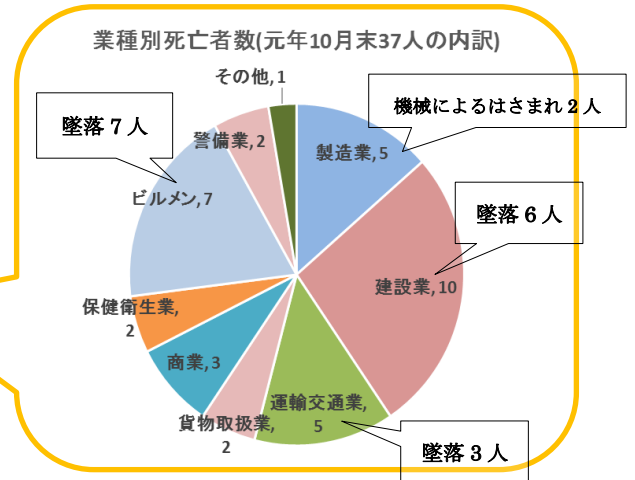
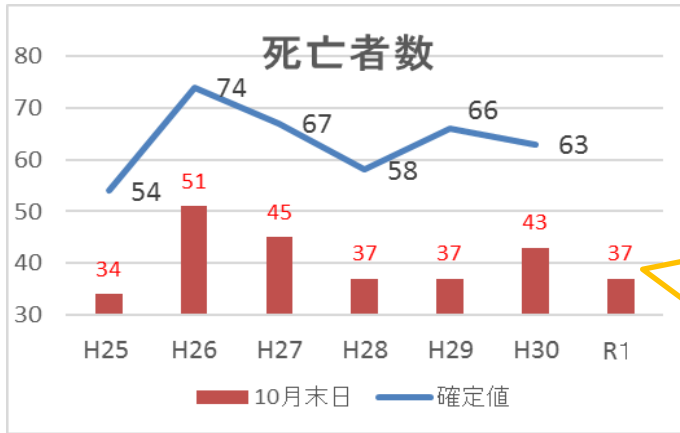


東京労働局・労働基準監督署では、“Safe Work TOKYO”の下、「**トップが打ち出す方針 みんなで共有 生み出す安全・安心**」をキャッチフレーズに労働災害防止の取組を推進しています。

令和元年（10月末時点）の東京労働局管内の労働災害発生状況は、以下のとおりです。  
各事業場において、労働災害防止に向けた取組をお願いします！

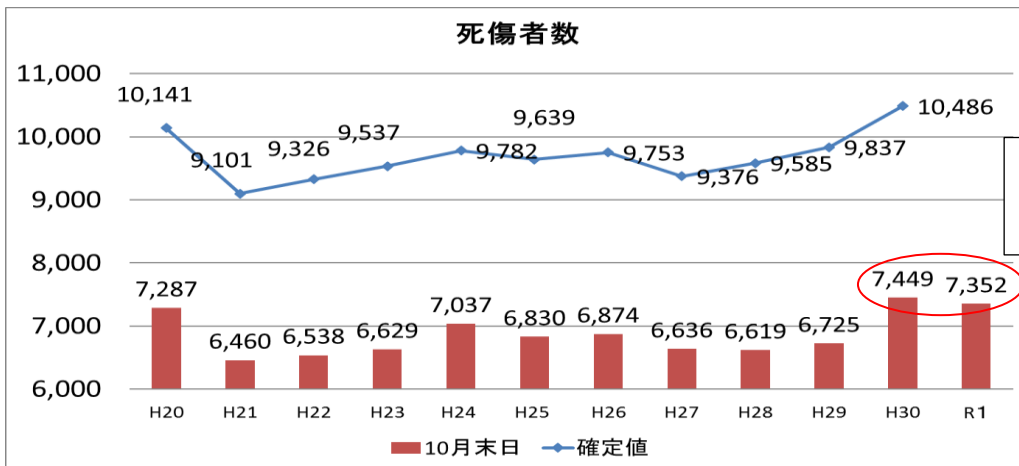
### 死亡者数 (37人)

- ・ 製造業 5人、建設業 10人、運輸交通業で 5人、ビルメンテナンス業 7人死亡。
- ・ 墜落・転落で 18人死亡、前年より 4人増加。



### 死傷者数 (7,352人)

- ・ 昨年と同水準で推移。**2年連続で年間1万人を超える恐れ。**
- ・ 昨年と比べ建設業、保健衛生業、ビルメンテナンス業で増加。
- ・ 業種横断的に墜落・転落、はさまれ巻き込まれ災害が増加。転倒災害も多発。



・ 前年比 97人減(-1.3%)  
・ 昨年と同水準であり、さらなる労働災害防止の対策が必要

### 災害事例 (12月～1月に発生)

**建設業**  
(年齢：40代)  
事務所階段を移動中、階段に雪が付着していたため転落  
左脛骨骨折・休業1ヶ月

**スーパーマーケット**  
(年齢：50代)  
惣菜売り場の床が濡れていたため、足を滑らせ転倒  
頭部挫傷・休業2週間

**クリーニング業**  
(年齢：30代)  
クリーニング物を納品する際、地面に足を滑らせ、転倒し、手首を骨折した。  
骨折・休業2週間

**機械器具設置工事業**  
(年齢：20歳未満)  
クレーン架台の穴あけ作業中、指がドリル先端に巻き込まれ骨折。  
左2指骨折他・休業90日

画像出典：職場のあんぜんサイト (<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/index.html>)

労働災害発生状況、労働災害防止に関するパンフレット等は東京労働局ホームページをご覧ください